

収益的収支・資本的収支の見込（事業全体）

資料5

＜収益的収支・資本的収支＞

（単位：億円）

		2024 決算	2025			2026 計画	
			計画	決算見込	決算見込-計画		
＜収益的収支＞	収益	入院収益	185.8	199.2	190.0	△ 9.2	200.5
		外来収益	127.7	131.7	139.4	7.7	131.6
		一般会計負担金	66.5	67.1	67.7	0.6	66.9
		その他収益	38.8	43.7	43.5	△ 0.2	44.4
		収益 計	418.8	441.7	440.6	△ 1.1	443.4
	費用	給与費	187.2	185.8	193.4	7.6	185.8
		材料費	140.8	143.8	152.0	8.2	144.8
		その他費用	102.6	107.6	103.2	△ 4.4	107.9
		費用 計	430.6	437.2	448.6	11.4	438.5
	経常損益		△ 11.8	4.5	△ 8.0	△ 12.5	4.9
経常収支比率		97.3%	101.0%	98.2%	△ 2.8%	101.1%	
＜資本的収支＞	収入	企業債	12.3	14.5	7.7	△ 6.8	10.6
		一般会計負担金	15.9	15.8	14.8	△ 1.0	16.0
		雑収入	0.4	1.4	0.2	△ 1.2	1.4
		計	28.6	31.7	22.7	△ 9.0	28.0
	支出	建設改良費	1.3	2.7	1.4	△ 1.3	2.1
		資産購入費	18.7	21.0	13.5	△ 7.5	17.7
		企業債償還金	22.7	22.4	22.6	0.2	23.0
		計	42.7	46.1	37.5	△ 8.6	42.8
	差引		△ 14.1	△ 14.4	△ 14.8	0.4	△ 14.8
	一般会計負担金 計		82.4	82.9	82.5	△ 0.4	82.9

＜病院別経常収支＞

（単位：億円）

	2024 決算	2025			2026 計画
		計画	決算見込	決算見込-計画	
がんセンター	△ 0.2	6.5	△ 0.6	△ 7.1	6.8
精神センター	△ 4.9	△ 3.5	△ 4.8	△ 1.3	△ 3.5
小児センター	△ 4.1	4.8	0.3	△ 4.5	4.9
本庁等	△ 2.6	△ 3.3	△ 2.9	0.4	△ 3.3
合計	△ 11.8	4.5	△ 8.0	△ 12.5	4.9

＜分析結果＞

- 2025年度の経常損益は、8.0億円の赤字となる見込みで、計画を12.5億円下回る見込み。
- 収益は、計画を1.1億円下回る見込み。
 - ・主な要因は、入院収益について、各センターともに新入院患者数は計画を上回ったものの、平均在院日数が短縮化の傾向にあり、延べ入院患者数が計画値を下回ったことなどによるもの。
 - ・なお、外来収益については、再来患者数の減少等により、延べ外来患者数は計画値を下回ったものの、高額医薬品の使用増加による単価上昇等により、収益としては計画値を上回った。
- 費用は、計画を11.4億円上回る見込み。
 - ・主な要因は、光熱水費や患者数に連動する委託費（臨床検査・遺伝子検査等の単価契約）等が抑えられたものの、給与改定による給与費の増加や高額医薬品の使用量の増加による材料費の増加によるもの。

＜2024年度運営評価委員会指摘事項への対応状況＞

- ・セグメント別（診療科ごと）の収支の可視化については、診療科や病棟ごと等、各センターの実状に応じた指標により可視化しており、今後は分析精度の向上に取り組むこととした。
- ・「見える化」の取組強化については、公式YouTubeチャンネル等のコンテンツの強化に取り組むとともに、各種SNSの活用による情報発信を引き続き行うこととした。
- ・備品購入時に単品指定とならないような仕様の検討については、各センターの備品整備委員会における取組に加え、今年度より高額医療機器の調達にあたっては、機種選定時及び予定価格設定時に病院事業庁長の事前確認を行うこととした。

＜2026年度に経営の安定化と経常黒字を達成するための取組＞

- ・事業全体の経常損益について、黒字計画に対し大幅な赤字の状況となっており、引き続き経営改善策に取り組んでいく必要がある。
- ・3センターともに入院・外来患者数が計画を下回っていることから、医療需要に相応しい体制について、引き続き人員の見直しを含めて検討する。
- ・費用について、時間外勤務の縮減や委託契約等の見直しを図る。
- ・経営の安定化に向けては、入院・外来患者の確保を第一に取り組むとともに、積極的な広報活動の実施による3センターの取組の見える化を進め、県民に選ばれる病院を目指す。
- ・そのほか、積極的な寄付金の獲得に向けた検討を進めていく。